

FINAL PUBLIC EDITION / 公開最終版

Acquisition Decision Record

取得意思決定記録

Zenith Arm Shell Chair – Salmon Pink

Collection ID: OM-LAX-003

Core Collection No.: SP-01

Model Designation: LAX

Prepared by / 作成主体 : 22degrees Origin Museum (OM)

Public Version 1.1 / 日本語版 / 改訂日 : 2026 年 9 月 12 日

© 2026 22degrees. All Rights Reserved.

Edition Status / 版の位置付け

本版は、2026 年 9 月 9 日作成の「OM-LAX-003 ADR Public Version 1.0」を基礎とし、その後追加確認された 2026 年 3 月 28 日の購入・決済記録、注文記録、および 2026 年 3 月 19 日、3 月 24 日、3 月 27 日の比較研究写真・画面記録を統合した公開改訂版である。

Public Version 1.0 で確立した取得判断、研究過程、個体観察、証拠区分および不確実性の表示方法を維持し、今回の改訂では新たな一次資料によって、購入日、購入対象および取得直前の比較研究過程について証拠上の確度を向上させた。

公開にあたっては、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、カード情報、担当者名、口座情報、販売店を不必要に特定する情報等を除外する。取引原票および個人情報を含む資料そのものは 22degrees Origin Museum 内部資料として保存し、公開版には研究上必要な事実のみを記録する。

Object / 対象

本書の対象は、2026 年 3 月 28 日に東京都内のミッドセンチュリー家具専門店で購入し、同年 4 月 3 日に受領した Zenith Arm Shell Chair – Salmon Pink 第 1 号である。

- Collection ID : OM-LAX-003
- Core Collection No. : SP-01
- Model Designation : LAX

2017 年に沖縄で取得し現在も保存する比較研究個体、後に取得した Salmon Pink 第 2 号、および OM-PAW-005 とは明確に区別する。

1. Purpose / 目的・記録原則

本 ADR は、OM-LAX-003 について、「なぜこの個体を調査し、他個体と比較し、最終的に取得したのか」という意思決定過程を記録することを目的とする。単なる製品説明、後年の市場価値評価、希少性の主張を目的とするものではない。

記録対象は、実物との生活経験、再観察、オンライン調査、専門店での実見、候補個体の比較、取得判断、購入、受領、取得後の確認へ至る連続的な研究過程である。研究背景は 2017 年の沖縄での Eames 家具取得まで遡る。

直接確認可能な写真記録上では、少なくとも 2025 年 12 月 27 日には、Eames Arm Shell / Side Shell、FRP、Shock Mount、Edge、製造ラベル、ベース、色彩等を横断的に比較する研究が行われていた。2026 年 1 月から 3 月にかけて研究は深化し、3 月 28 日の取得へ至った。

- Confirmed / 確認事項：原資料または現物から直接確認された事項。
- Curator Record / 本人記録：本人自身の体験、記憶、観察、同時期記録。

- Reported / 第三者説明：販売店等による説明。OM による独立検証済み事実とは区別する。
- Comparative Evidence / 比較資料：別候補、専門店での観察、販売画面、市場比較資料。
- Interpretive / OM の解釈：事実・記録に基づく現在の研究上の意味付け。
- Unknown / Unverified：現在の資料では確定できない事項。

証拠が追加された場合も、取得当時に本人が知っていた情報と、取得後または現在になって確認された情報を混同しない。

2. Research Background / 研究背景

本研究の前史は、2017 年の沖縄におけるミッドセンチュリー家具との出会いに遡る。本人は、沖縄県宜野湾市大山の国道 58 号沿い、当時多くの家具店が存在した地域を巡る中で、RAGGED GLORY の空間に強く惹かれた。家具、椅子、照明、雑貨等が一体となった店舗空間を何度か訪れ、その後 Eames Arm Shell Chair を含む複数の家具を取得した。

2017 年 2 月 5 日付の納品記録には「Eames Armshell」を含む家具の取得が記録されている。この時点では、現在の OM における Zenith 期研究や Salmon Pink 保存方針が体系化されていたわけではない。出発点は、実物と共に暮らし、その形、色、素材、経年状態を長期間体験したことにあった。

2026 年 1 月、沖縄に保存している既所有 Arm Shell を改めて観察した。逆光による FRP の透過、内部のガラス繊維、裏面、Shock Mount、Rod Base 等を詳細に見ることで、関心は単なる家具の外観から、素材、製造方法、繊維、接合、Edge、年代的特徴へと変化した。

2017 年の体験は、後から作られた収集物語ではなく、2026 年の研究姿勢が形成される以前から存在した実物との生活経験として位置付ける。

3. Formation of the Research Perspective / 研究姿勢の形成

写真ライブラリ記録から、少なくとも 2025 年 12 月 27 日には、多数の Eames Fiberglass Shell 関連画像を保存・比較していたことが確認されている。Parchment、Gray、Red / Orange、Salmon 系等の色彩だけでなく、FRP 表面、裏面、ラベル、Shock Mount、Base 等が比較対象となっていた。

2026 年 1 月には、Evans Products、Zenith Plastics、Herman Miller という製造史と、現存個体に残る物理的特徴との関係へ調査範囲が広がった。2 月には、FRP 表面、繊維、Edge、Mount、Glide、金属部、溶接、亀裂、張地内部等を分解的に観察する研究へと進んだ。

これは、単に「古い Eames Chair を探す」という行為から、現物に残された情報を読み取る研究へ変化したことを示す。

4. Pre-Acquisition Research Timeline / 取得前後の時系列

2017 年 2 月 5 日 沖縄の RAGGED GLORY で Eames Arm Shell 等を取得。

2017 年 2 月～3 月 取得家具を生活空間で使用・撮影。

2025 年 12 月 27 日 現時点で確認できる連続的な Eames Arm Shell 比較研究写真が始まる。

2025 年 12 月 27 日～30 日 Parchment、Gray、Red / Orange、Salmon 系その他複数個体について、色、FRP、ラベル、裏面、Base 等を比較。

2026 年 1 月 1 日～19 日 FRP、Edge、Shock Mount、製造ラベルに加え、Evans / Zenith / Herman Miller の製造史を比較。

2026 年 1 月 28 日 Zenith 期と説明された Rocking Arm Chair 候補を具体的に検討。

2026 年 2 月 7 日～19 日 FRP、Edge、Mount、Glide、Base、溶接、損傷等について詳細比較。

2026 年 3 月 5 日 複数のヴィンテージ家具販売情報について Web 調査。

2026 年 3 月・初回 東京都内のミッドセンチュリー家具専門店を訪問し、多数の Arm Shell 等を実見。

2026 年 3 月・再訪 同店を再訪し、候補個体を詳細に観察。

2026 年 3 月 19 日 別の Salmon 系 Arm Shell / Rocking Base 候補の販売画面を保存。また、専門店内で別色の初期 Arm Shell の裏面、Shock Mount、Base 等を実見・撮影。

2026 年 3 月 24 日 Salmon Pink を含む複数の Arm Shell、PAW、DAX、Shell 単体、Parchment、Lemon Yellow、Greige、Red Orange、Terra Cotta 等の市場情報を横断比較。

2026 年 3 月 27 日 取得直前日の写真記録で、Salmon 系 Arm Shell について全体像、裏面、Zenith ラベル、Shock Mount、FRP 表面、Rope Edge、Base との組合せを集中的に確認。

2026 年 3 月 28 日 OM-LAX-003 を購入。

2026 年 4 月 3 日 対象個体を受領。

2026 年 4 月 4 日以降 Base、Glide、溶接、Mount、FRP 等について取得後観察を継続。

5. Comparative Investigation / 専門店調査・市場比較

本個体の取得は、一つの販売情報を見て即座に決定したものではない。2025 年 12 月以降、多数の Arm Shell について比較が続けられた。比較対象は、色、年代説明、Base 形式、ラベル、FRP、Edge、Shock Mount、Glide、損傷、補修状態等であった。

2026 年 3 月 19 日の記録では、Salmon 系 Rocking Arm Chair 候補の販売情報を確認する一方、店舗では別色の Arm Shell について裏面構造や Rocking Base を直接観察している。2026 年 3 月 24 日の画面記録では、Salmon Pink だけでなく、PAW、DAX、Shell 単体および複数色個体が同時に比較されている。

これらは「Salmon Pink だから取得した」という単純な判断ではなく、Shell の年代的特徴、状態、ラベル、Edge、構成、価格等を比較したうえで候補を絞り込んでいったことを示す。

3 月 27 日の記録では、Salmon Pink 系 Shell の裏面に残る Zenith ラベルと Shock Mount が繰り返し確認されており、最終判断直前の研究が個体識別に関係する物理的特徴へ集中していた。

ただし、比較対象となった販売ページに記載された製造年、オリジナル性、色名称、Base 名称等は第三者の説明である。本 ADR は、それらを歴史的事実として採用するのではなく、当時の意思決定に用いられた比較情報として記録する。

6. Acquisition Evaluation and Decision / 取得評価・意思決定

6.1 Acquisition Date and Transaction Record / 取得日および取引記録

2026 年 3 月 28 日付の領収記録および注文記録により、購入日および購入対象が一次取引資料から確認された。

- 購入日：2026 年 3 月 28 日

領収記録には 2026 年 3 月 28 日 14 時 12 分の取引記録が残る。注文記録にも同日付で、Salmon Pink Arm Shell と X-base が別項目として記録されている。これにより、購入日および購入対象について取引原票との直接照合が成立した。取得金額は公開版には記載しない。

氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、カード関連情報、担当者情報、販売店の詳細情報等は公開対象としない。原票画像自体も公開版には掲載せず、OM 内部証拠として保存する。

6.2 Principal Factors in the Acquisition Decision / 取得判断で重視した事項

第一に、Shell 裏面に残る Zenith の四角形ラベルである。本人は、このラベルを初期個体を理解するうえで重要な物理情報として評価した。

第二に、Rope Edge である。Edge 部には FRP 繊維が巻き込まれるような立体的構造が見え、太く丸みがあり、均一な工業製品とは異なる手触りを感じさせる。

第三に、FRP そのものの視覚的状态である。長いガラス繊維が複数方向に重なり、光の条件によって内部構造が浮かび上がる。

第四に、Salmon Pink の色調である。単なる色名ではなく、FRP の繊維、樹脂、経年変化、透過光が重なった色として評価された。

第五に、使用痕を含む経年状態である。擦れ、小さな汚れ、表面変化は認識されていたが、それらを一律に除去すべき欠点とは捉えなかった。本人は、実際に使われてきた個体が持つ履歴の一部として保存する姿勢を取った。

一方、前方の脚取付部付近にはわずかなヒビ状変化が確認されており、構造的リスクを無視して取得したわけではない。

6.3 Position of the Base / Base の位置付け

購入記録では Shell と X-base が別項目として記録されている。これは重要である。現在の OM 登録上は Model Designation として LAX を用いるが、本記録は「この Shell が製造当初から現在の Base と一体で出荷された」ことを証明するものではない。

Shell と Base の過去の組合せ履歴、工場出荷時構成、いつ現在の組合せになったかについては Unknown とする。

6.4 Decision Point / 判断の到達点

本取得は、単発的な購入ではなく、少なくとも写真記録上 2025 年 12 月 27 日から約 3 か月間にわたって継続した比較研究の到達点として位置付けられる。

- 色・形
- FRP
- Edge
- Shock Mount
- Label
- Base / Glide / Welding
- 損傷・経年状態
- Evans / Zenith / Herman Miller の製造史

そのうえで、Salmon Pink、Zenith label、Rope Edge、FRP 表現および保存状態を備える個体を、長期研究・保存対象として取得した。

7. Delivery and Physical Receipt / 配送と受領

購入日は 2026 年 3 月 28 日である。購入後、配送・受領日程の調整が行われた。Physical Receipt Date は 2026 年 4 月 3 日とする。購入日と受領日は別の出来事として記録する。

受領後の本人記録では、店舗で確認した状態で到着し、配送による新たな損傷は認識されなかった。

8. Post-Acquisition Verification / 取得後確認

受領後、本人は Shell、Base、Mount 等について再度詳細に観察した。Salmon Pink の色調、光透過、Zenith label、Rope Edge、Fiberglass の繊維、裏面状態、使用痕、Shock Mount、Base、溶接、Glide 等が記録された。

前方 2 か所のヒビ状変化については視覚的観察記録として保存する。現時点で、この記述から構造亀裂の深さ、貫通性、発生原因、進行性等を確定しない。

販売店から取得後に受けた Shell、Base、Mount 等に関する説明については Reported として保存し、OM による独立検証済み事実とはしない。

9. Research Significance and Position within OM / OM における研究上の意義

OM-LAX-003 の重要性は、単に Salmon Pink の Eames Chair を一脚保存したことにはない。OM において重要なのは、一つの保存個体を通じて、Fiberglass の物質性、製造痕、Edge 形成、Shock Mount、Label、Base、Color、経年変化、使用痕、修理・保存、流通履歴を継続的に観察できることである。

OM-LAX-003 は、今後の Zenith Plastics 製 Arm Shell Chair 研究の中心個体の一つとして保存する。同時に、後続個体との比較によって、一個体だけでは判断できない個体差、製造差、経年差を研究する基準点となる。

10. Relationship to OPR, APD and ORD / 他文書との役割分担

- ADR : なぜ調査し、なぜ取得したかを記録する。
- OPR : 個体の登録、来歴、保存状態、保存管理等を記録する。
- APD / Photographic Documentation : 個体の視覚的一次資料を保存する。
- ORD : 実物から取得する寸法、材料、構造、表面、製造痕、経年変化等の一次研究データを記録する。

したがって、本 ADR は将来の ORD の代替ではない。本書で記載する FRP、Edge、Mount 等の観察は取得判断との関係を説明する範囲に限定し、定量的研究は ORD へ委ねる。

11. Evidence Register / 根拠資料台帳

既存の E01～E15 は Public Version 1.0 から継承する。Public Version 1.1 では、以下を追加確認資料として登録する。

E16 — 2026 年 3 月 28 日 領収記録

状態：直接確認。内容：購入日および商品内訳を確認。公開処理：原画像非掲載。取得金額、個人情報、販売店識別情報、カード関連情報を非公開。

E17 — 2026 年 3 月 28 日 注文記録

状態：直接確認。内容：Salmon Pink Arm Shell と X-base が別項目として記録されていることを確認。公開処理：取得金額、氏名、住所、電話、電子メール、担当者情報その他識別情報を非掲載。

E18 — 2026 年 3 月 19 日 比較研究画像

状態：直接確認。内容：Salmon 系 Rocking 候補の販売画面、および別色 Arm Shell の裏面・Mount・Base 等の店舗観察写真。位置付け：取得候補・比較個体。OM-LAX-003 そのものではない。

E19 — 2026 年 3 月 24 日 市場比較画面

状態：直接確認。内容：PAW、DAX、Shell 単体、Salmon Pink および複数色個体の市場比較。位置付け：市場・個体比較資料。販売者による年代・名称・価格表示は第三者情報。

E20 — 2026 年 3 月 27 日 取得直前比較写真群

状態：直接確認。内容：Salmon 系 Arm Shell の全体像、裏面、Zenith label、Shock Mount、FRP、Edge 等を含む比較記録。位置付け：取得判断直前の研究収束を示す写真資料。

12. Unresolved Matters and Revision Control / 未確定事項・版管理

製造年・世代：初期個体として研究するが、厳密な製造年は本 ADR では確定しない。

Model Designation LAX：現在の OM 登録名称である。工場出荷時の構成を証明しない。

Shell の米国での来歴：販売店入荷以前の所有者、使用場所、流通経路は Unknown。

Base の以前の来歴：現在の Base がいつ Shell と組み合わせられたかは Unknown。

Shock Mount：販売店説明等は Reported。未交換性を科学的に証明したものではない。

前方 2 か所のヒビ状変化：本人観察として記録。性質、深さ、原因、進行性は別途研究対象とする。

購入費用：取引原票により内部記録として確認済み。ただし取得金額は公開版には記載しない。

比較候補：販売画面の年代、モデル、オリジナル性等は第三者記載であり、そのまま歴史的事実へ転用しない。

写真ライブラリ：表示日と画像群の存在を研究時系列の証拠として使用する。すべての元画像について撮影時刻、保存時刻、EXIF 等を完全検証したものではない。

Revision History / 版履歴

Public v1.0 / 2026-09-09：非公開詳細最終版 v1.3 を基礎として作成。取得判断、研究時系列、2017 年資料、写真資料等を匿名化して公開版へ統合。

Public v1.1 / 2026-09-11：2026 年 3 月 28 日の領収記録・注文記録を直接確認し、購入日および取得対象を一次取引資料によって補強。2026 年 3 月 19 日、3 月 24 日、3 月 27 日の比較研究画像を追加統合し、取得直前の研究過程を再構成。取得金額、個人情報、第三者識別情報および決済情報は公開対象外とした。

Public v1.1 / 2026-09-12：公開版における取得金額の非掲載方針を確定し、本文、根拠資料台帳、未確定事項および取得証拠更新から金額情報を削除。取得日・購入対象・取引証拠の存在は維持。

Appendix A — Curatorial Memorandum / 補足資料 A — キュレーター ー・メモランダム

RAGGED GLORY — ミッドセンチュリー家具との出会いと、Eames Arm Shell 研究への起点

2017 年、沖縄県宜野湾市大山の国道 58 号沿いには、米軍統治期以降の家具文化の影響を感じさせる家具店やヴィンテージショップが複数存在していた。

本人はその地域を何度か訪れ、複数の店舗を見る中で、RAGGED GLORY に特に強く惹かれた。そこには、椅子だけではなく、家具、照明、雑貨、生活道具が一つの空間の中に存在していた。

当時、それらを「研究資料」として見ていたわけではない。むしろ、その空間そのもの、その家具と共に暮らすことへの直感的な魅力が出発点だった。

2017 年 2 月 5 日、Eames Arm Shell Chair を含む複数の家具を取得した。購入後、それらは展示物として隔離されるのではなく、実際の生活空間の中で使用された。

その後長い時間を経て、2026 年に同じ Arm Shell を改めて観察したとき、以前とは異なるものが見え始めた。逆光を通した Fiberglass。内部を走る Glass Fiber。裏面の構造。Shock Mount。Edge。色の奥行き。経年した表面。

それまで「好きだった椅子」が、問いを持つ研究対象へ変わった。この変化は、一つの家具を長期間保有したからこそ生まれたものである。

2017 年の RAGGED GLORY での体験と、2026 年の Zenith Arm Shell 研究は、当時から計画されていた一つのプロジェクトではない。両者の間には約 9 年間の時間がある。だからこそ、この時間そのものが重要である。

後から意味が生まれる。以前は見えなかったものが見えるようになる。一つの実物との長い関係が、新しい研究の入口になる。

OM-LAX-003 の取得は、この流れの中に位置する。それは 2017 年の個体の代替ではない。また単純な上位個体への買い替えでもない。

2017 年から続く実物との経験を出発点として、素材、構造、製造、色、時間、経年変化についてより深く調べるために取得された新しい研究個体である。

したがって、RAGGED GLORY での体験は OM-LAX-003 の直接の来歴ではない。しかし、なぜ現在の研究が存在するのかを理解するうえで、その前史として重要な位置を占める。

この記録は、ミッドセンチュリー家具との最初期の個人的接点が、長い時間を経て 22degrees Origin Museum における保存・研究活動へとつながった過程を保存するものである。

Appendix B — Public Evidence Policy / 公開証拠方針

公開版では、研究の検証可能性と第三者のプライバシー・業務上情報の保護を両立させる。取引原票、メール、注文書等に含まれる個人情報は公開しない。

第三者店舗について、研究内容を説明するために店舗を特定する必要がない場合は一般化する。比較画面についても、店舗名、URL、商品管理番号等は原則として公開本文へ記載しない。

一方、RAGGED GLORY については、本研究の前史を構成する文化的・個人的体験の場所として本人が公開を認めているため、名称を保持する。

Appendix C — Acquisition Record Update / 取得証拠更新

Public v1.1 で最も重要な証拠上の更新は、2026 年 3 月 28 日の購入記録の直接確認である。旧版では購入日について本人メールその他の同時期記録を主な根拠としていた。

本版では、領収記録と注文記録の双方によって、購入日、購入対象、および Shell と Base が別商品として記録されていることが直接確認された。取得金額は内部資料で確認するが、公開版には記載しない。このため、Purchase Date=2026-03-28 は一次取引証拠によって補強された Confirmed 情報とする。

Appendix D — Pre-Acquisition Visual Research / 取得直前視覚研究

2026 年 3 月 19 日から 27 日にかけて残された写真は、取得判断直前の研究方法を理解するうえで重要である。

3 月 19 日には候補個体と店舗実物観察。3 月 24 日には複数モデル・複数色・複数価格帯の横断比較。3 月 27 日には Salmon 系個体の Label、Mount、Edge、FRP 等への集中。そして 3 月 28 日に購入。

この連続性は、取得が単なる色彩的嗜好だけで決まったものではなく、実物、比較資料、市場情報、構造観察が重なった結果であったことを示している。

Appendix E — Final Statement / 最終記録

OM-LAX-003 は、完成された答えを保存するための個体ではない。むしろ、今後長期にわたり問いを持ち続けるための保存個体である。

この個体がどの年に製造されたのか。その **Shell** がどこでどのように使われたのか。現在の **Base** といつ組み合わされたのか。FRP の繊維と樹脂はどのような状態にあるのか。Rope Edge は他個体とどのように異なるのか。色は時間によってどのように変化しているのか。使用痕や亀裂は今後どのように推移するのか。

これらの問いのすべてに、現時点で答えがあるわけではない。ADR の役割は、その不確実性を消すことではなく、「なぜこの個体を取得し、どのような過程でここまで来たのか」を、証拠と時間軸を保ったまま未来へ残すことである。

OM-LAX-003 は、2017 年から続く実物との経験、2025 年末以降の比較研究、2026 年初頭の実物観察、3 月の専門店調査・市場比較、そして 3 月 28 日の取得判断が一点に収束した保存個体である。

22degrees Origin Museum は、この個体を今後の Arm Shell 研究における中核的な比較・観察対象として保存し、OPR、Photographic Documentation、ORD その他の独立研究記録と接続しながら、長期的に研究を継続する。

END OF PUBLIC EDITION

OM-LAX-003
Acquisition Decision Record
Public Version 1.1
Final Public Edition
2026-09-11

© 2026 22degrees. All Rights Reserved.